



Title	沖縄返還請求権全般(4)大蔵省前田審議官との協議(昭和45年11月28日) 外務省外交史料館レファレンス番号:H221255)
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(3)No.1 公開日:平成22年12月22日 外務省外交史料館管理番号:2010-6428 CD・DVD番号:H22-009
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43696
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

(4) 大蔵省前田審議官との協議 (昭和45年11月28日)



並本局

並本局

並本局

並本局

並本局

中

大蔵省前田善次郎の電報通信

の件

45.11.28 条の中

中

1. 28日下記2の用件にて大蔵省前田

善次郎の電報の件 先より、27日綴

外務省における上原議員(記.中)の管内に

(補遺)

対外的に外務大臣官邸中議本問題につき

(大蔵省)

大臣が従事打合せの線まはみだした

の如き「当分の根拠」の旨、わが国に

(対米交渉)まじり、場合により果敢に

進取の如き如き、に中し、云々

の趣旨を述べられたことと推察は、この

先より、当不事務当局作成の資料
(従来のライブラリ)

を證明し、先は、今後委員

会においても大臣が「の趣旨を述べられた

おそれ、とすれば、身不務当局とせば

深い関心を持つべきで、この趣旨の

政府官邸に prevail する見込みなら、

むしろ「おべこ米價に交渉する」とのライ

ビデに「要する」とか、既に

大蔵省と協賛中の議本問題(記.中)

方針の根拠(対米交渉上)を強くし

との要本に添付するにてもありてなくない
 の趣意を述べた。よって、当方より
 大蔵化の關心は大蔵にも伝へらるる
 措置しかくべきを答へておいた。
 2. 露王取交: 方針格付け内
 27日条外、世末両向会議の結果を伝
 (復帰後の復之補償を除く)
 之、全般に大蔵化の進展を十分
 汲んで、露王取交をまとめたものにつき
 通格補償をCとあることについては思
 慮内をとりまておいた。格付けのほかに
 (42中の備考欄)
 露王取交の附件の内容につき rigid 条件

この条、露王取交は、
 露王取交の趣意を述べた。
 大蔵にも伝へらるる
 措置しかくべきを答へておいた。
 2. 露王取交: 方針格付け内
 27日条外、世末両向会議の結果を伝
 (復帰後の復之補償を除く)
 之、全般に大蔵化の進展を十分
 汲んで、露王取交をまとめたものにつき
 通格補償をCとあることについては思
 慮内をとりまておいた。格付けのほかに
 (42中の備考欄)
 露王取交の附件の内容につき rigid 条件

を打出すにすぎず、格付け評価
 meeting of mind ばかりに、おぼ
 たらしく、先ず、当方の趣意を謝し、
 通格補償については、当方申すに、
 之、方針と固まらざる旨、30日、大蔵省内
 協議し、当方、対露国策を固めざる旨
 を答へておいた。
 (先ず、
 露王取交、復帰後の復之補償内
 (先ずは格付けを M-C とし、
 につき、大蔵内部の關係者(条件取交の
 (大蔵)
 は、露王取交の趣意を述べ、同旨を
 旨含め)は、米俵に對し、持し出すにてもない (c)

という事は急内得し難いという事が大体
の意向で、Cにまともな事は言えぬ
なにかを言ふ事は出来ず、何かを協会の
外に言ふ事は出来ず、C以外の回答
にその点を言ふ事は出来ず、その言が
当分より、~~毎~~我々の意向と推し及べし、
自分限りで今迄も（先事以上の）点を
言ふ事は出来ず、殊に一言米側は推し及べし
という意味のBにその点を上司に言ふ事も、
米側回答の言はるべき事、さらにはラフサウ
その他、Variation of fall back position

として要求される可能性があるのであれば
~~言~~言ふ事の上には持たせられぬに申す
^{30日の}
言はべしと云ふ、現に大蔵内部の
協力は、AからCに至るまでの（ラフサウ
を含む）4つの案と資料として準備し、
よからず新設に言ふ事を考へて
なり、かかるVariationの可能性も言ふ
事は出来ず、殊に右協力の結果も
言ふ事は出来ず、言はべしと云ふ、当分より
言はるべき事、（連絡あり）と云ふ事は出来ず
言はるべき事、
言はるべき事、

3. 前記合議の際、是より譲渡の

人身補償のBにつき、これは相当の向き

をBと了解によいかを由らぬので、事務^的

は、^{請求}当事者の瑕疵の由題あって米俵に

法的事由に依り要求をなした案件と考之

ならず、^(はた)人道的配慮と新の性徳との

故、「前向き」といふのが趣旨を旨とし

「前向き」「一応」といふ抽象的福残

を以て意味なく、米俵切り出し後の進退

は、^{により實際上解決せしむべし}両省協議~~が~~と

述べらるる、是を楚意と表し、